

多文化社会コーディネーター論

1. 職名及び員数	特任講師 1名
2. 所属	世界言語社会教育センター
3. 担当科目	(1)言語文化学部（グローバルコミュニケーションコース）における導入科目、概論科目、専修科目 (2)世界教養プログラムにおける世界教養科目 (3)大学院については、大学院教授会の審議を経て決定される (4)担当科目については2011年（平成23年）度2学期からの担当とします。ただし、2011年（平成23年）度2学期においては多言語・多文化総合プログラムで開講されている総合科目を担当し、2012年（平成24年）度、新学部発足とともに新カリキュラムによる上述の担当科目を担当することとします。
4. 担当業務	(1)多言語・多文化教育研究センターの運營業務 (2)学生地域貢献活動の支援 (3)多文化社会コーディネーター論の構築および認定基準の策定 (4)多文化社会専門人材養成講座（オープンアカデミー）等社会貢献業務 (5)その他本学の多言語・多文化教育研究に関わる業務
5. 専門分野	多文化社会コーディネーター論（日本の多言語・多文化社会を中心に）
6. 応募資格	(1)博士号取得者またはそれと同等の資格を持つ者 (2)専門分野において高度な実践経験を持つこと (3)日本語で講義、指導、校務ができること
7. 採用予定日	2011年（平成23年）10月1日
8. 待遇	(1)就業条件については、国立大学法人東京外国語大学の規則および規程に従うこととなります。 (2)特定教員制度の概要は以下のとおりです。 1)就業規則は、国立大学法人東京外国語大学特定有期雇用職員就業規則が適用されます。 2)雇用期間は、3年とします。更新は1回で、多文化社会人材養成プロジェクトの期限終了（2016年3月末）までとなります。 3)給与は、基本給及び通勤手当とし、通勤手当以外の手当及び退職手当は支給しません。

9.提出書類	<p>(1) 履歴書（本学所定様式）1通</p> <p>(2) 研究教育実践業績一覧（本学所定様式）1通</p> <p>(3) 主要研究業績（実践研究を含む）3点×6部（オリジナルではなくA4判コピーで提出すること）</p> <p>(4) 選考の過程で応募者についての意見を伺うことができる方2名の氏名及び連絡先（所属、電話番号、e-mailアドレス）（様式自由）1通</p> <p>(5) 主要研究・実践業績の概要（本学所定様式）1通</p> <p>(6) 応募の理由および抱負（本学所定様式）1通</p> <p>(7) 応募書（本学所定様式）1通</p> <p>*応募の際に提出していただいた書類は原則として返却いたしません。</p> <p>*本学所定様式は、こちらからダウンロードできます。</p> <p>→http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/2011/06/post_211.html</p>
10.応募期限	2011年（平成23年）7月15日必着
11.送付先	<p>〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1</p> <p>東京外国語大学総務企画課研究院事務室</p> <p>電話 042-330-5555</p> <p>（封筒に「多文化社会コーディネーター論担当教員応募書類在中」と朱書きで明記し、書留郵便または宅配便で送付すること）</p>
12.選考方法	<p>(1) 選考は、書類審査及び面接により行います。</p> <p>(2) 面接は書類審査合格者を対象とし、これに係る経費は応募者の負担とします。</p> <p>(3) 面接の実施に当たっては、事前にシラバス等の提出をお願いする場合があります。</p> <p>(4) 面接では、模擬授業の実施をお願いする場合があります。</p> <p>(5) 面接は、8月上旬頃に実施する予定です。</p> <p>(6) 採用結果については、8月下旬までに通知する予定です。</p>
13.連絡先	<p>東京外国語大学多言語・多文化教育センター長 青山 亨</p> <p>E-mail: t-jinji20111@tufs.ac.jp FAX:042-330-5448</p> <p>（お問合せは上記宛E-mail またはFAXでお願いいたします。）</p>
14.その他	